

「一戦必勝で頑張る」

光星ナイン 青森県庁訪問

第104回全国高校野球選手権大会に青森県代表として出場する八学光星高の選手らが27日、県庁を訪れ、

青山祐治副知事に甲子園で選手権大会に青森県代表としての健闘を誓った。

県庁を訪問したのは、中村良寛校長、仲井宗基監督



甲子園での活躍を誓う（前列右から）仲井宗基監督、洗平歩人主将、織笠陽多選手、野呂洋翔選手

27日、青森県庁

と、主将の洗平歩人、織笠陽多、野呂洋翔の3選手。

仲井監督は「今の3年生は新型コロナウイルスの影響で我慢の連続だった。甲子園で力を爆発させたい」とあいさつ。洗平主将は「最初で最後の甲子園。楽しみながらプレーできれば結果につながる。一戦必勝で頑張りたい」と抱負を述べた。

青山副知事は「深紅の優勝旗を持ち帰ってくることを県民一同期待している」とエールを送った。

青森大会で2本の本塁打を放つなど、打撃が絶好調だった織笠選手は取材に「青森の子どもたちに勇気と感動を与えるようなバッティングをする。初戦から柵越えを狙う」と気合十分だった。

全国高校野球選手権大会は8月6日開幕。組み合わせ抽選会は同3日に行われる。

（加藤弘也）